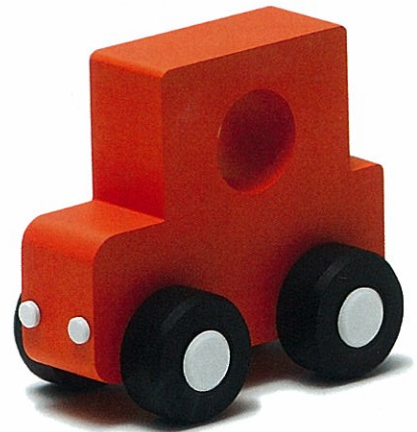


東京SMOOTH
トーキョ スムース

首都圏の流れが、地下から変わる。

もしも トンネル内で 火災に あつたら



【山手トンネルをご利用前にご覧ください】

vol.1

あなたの安全・安心のために

快適・安心・安全なトンネルをめざして、

快適

渋滞の減少と環境の改善に寄与します。

【中央環状新宿線の役割】

中央環状新宿線は高速3号渋谷線、高速4号新宿線及び高速5号池袋線を相互に接続することにより、放射道路と組み合わせて首都高速道路を効率よく走ることが出来るようになります。

中央環状新宿線

④新宿線～⑤池袋線
(西新宿 JCT～熊野町 JCT間)
2007年12月開通

中央環状新宿線

③渋谷線～④新宿線
(大橋 JCT～西新宿 JCT間)
2009年度開通予定

中央環状品川線

②湾岸線～③渋谷線
2013年度開通予定



■中央環状新宿線の概要

中央環状新宿線は全長約11kmでそのうち約10kmの区間がトンネル構造(山手トンネル)となっています。

■中央環状新宿線の効果

中央環状新宿線及び品川線が整備されると、首都高及び周辺街路の交通の流れがスムーズになり、車の排出ガス量が減少して、大きな環境改善が期待できます。

中央環状線の完成による環境改善効果(予測)

CO₂
(二酸化炭素)
約40万
トン/年
削減

CO₂を例にとると、これは代々木公園約700個分の照葉樹林が年間に吸収する量に相当します。

※「土地利用、土地利用変化及び林業に関するグッド・プラクティス・ガイダンス(優良手法統計)」をもとに面積を算出

※首都圏(1都3県)の高速・一般道路を対象とした試算値(対距離料金制導入等による効果を含む)

安心

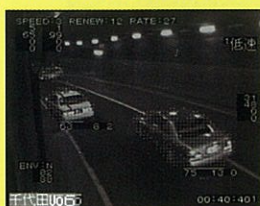
24時間、お客様を見守っています。

交通管制室



テレビカメラ、非常電話、パトロールカー等からの情報をもとに事故、火災などの状況判断します。その判断に基づき警察、消防などへの要請、パトロールカーの出動、関係機関への通知などを行います。

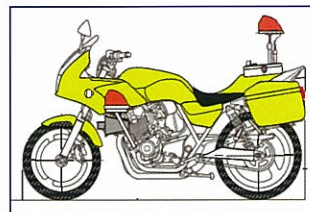
■交通事故を即時に見つけます。



画像処理による交通異常検出システムの導入により、「停止車両」「低速車両」などを自動的に検出し、より早期の対応が可能になります。

連携

パトロールカー

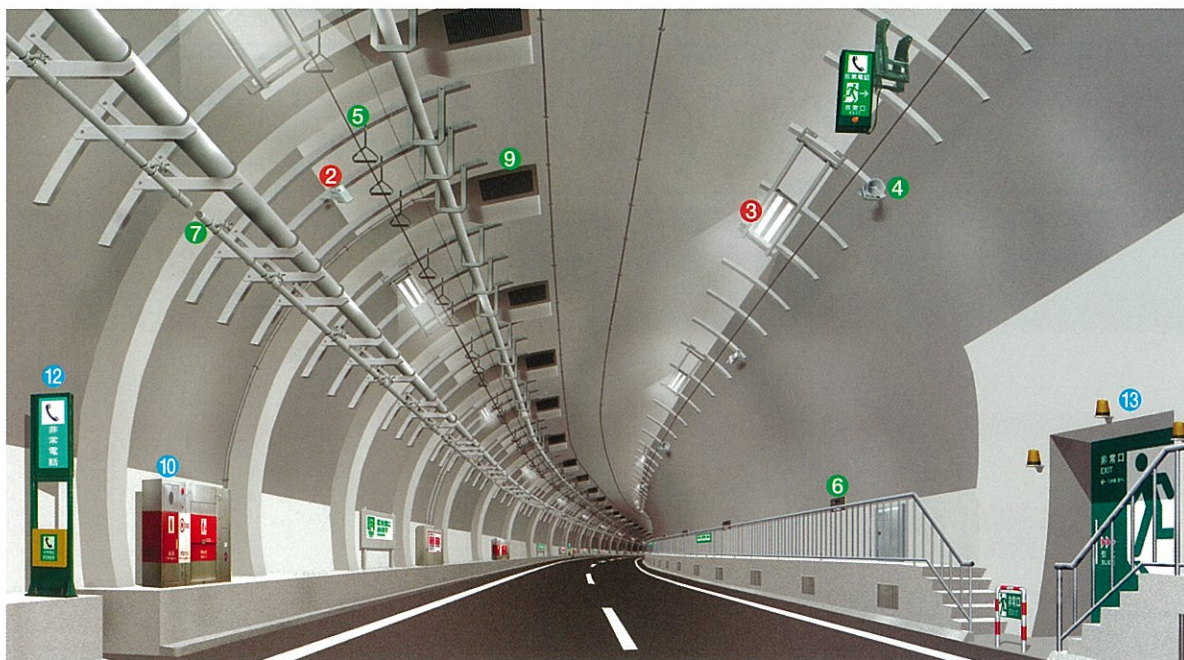


高速道路を24時間体制で定期的に巡回し、日々交通安全の確保に努めています。交通事故や火災などが発生したときはただちに現場に向かいます。山手トンネルの開通にあわせ新しく二輪車によるパトロール隊を導入し、パトロールの強化を図ります。

24時間見守り続けています。

安全

万が一の事故や火災に備えて、万全の設備があります。



■ 通常時の安全設備

① 管制室

万が一に備え、24時間体制で交通状況と各設備の状態を見守っています。火災検知器からの火災情報、テレビカメラからのトンネル内の状況を把握し、遠隔操作により、迅速かつ的確に各機器の制御を行います。



② テレビカメラ

約100mの間隔で設置し、常にトンネル内を見守っています。火災時には自動的にその場所の状況を管制室に映し出すとともに、トンネル内の走行状態の異常を画像処理により管制室に通知する機能を有しています。



③ トンネル照明設備

安全で快適に走れるように、見やすく明るい照明を設置します。特に分合流部では明るさを増しています。また、停電が起きても、走行に支障がない明るさを確保します。



■ 火災発生時の防災設備

④ 拡声放送スピーカー

200m以下の間隔でスピーカーを設置し、ドライバーに情報を伝達します。明瞭性を確保するため時間遅延技術を採用しています。



⑤ ラジオ再放送設備

ラジオ放送により情報を伝達します。



⑥ 自動火災検知器

約25m間隔で設置しています。火災時に発生する赤外線を自動的に検知し、管制室にいち早く知らせます。



⑦ 水噴霧設備

管制室からの遠隔操作により、約50mの範囲に霧状の水を放水し、火災の延焼や拡大を防ぎます。



⑧ 信号機・トンネル警報板

非常時にトンネル内の火災、事故等の情報を他のドライバーにお知らせします。トンネル入口、トンネル内に設置します。



⑨ 排煙口(排気口)

火災時の煙は排煙口から吸い込み、トンネル外へ排出します。



■ 火災発生時、ドライバーの方に利用していただく設備

⑩ 消火器・泡消火栓

消火器や簡単に扱える泡消火栓を約50mの間隔で設置しています。無理のない範囲での初期消火をお願いします。



⑪ 押ボタン式通報装置

約50m間隔で設置しています。火災または非常時にボタンを押すことで、管制室へ通報できます。



⑫ 非常電話

約100mの間隔で設置しています。受話器を取ると管制室に連絡することができます。また、受話器をとり、通話ランプが点灯してから『故障』『事故』『救急』『火災』のいずれかのボタンを押していただくことで、管制室に用件が伝わります。

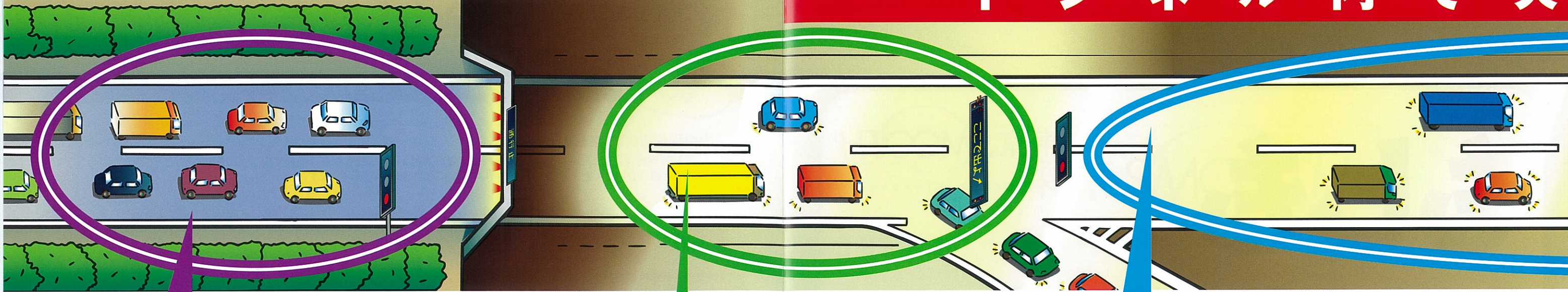


⑬ 非常口

350m以内に設置されている非常口から地上出口まで避難することができます。



トンネル内で火



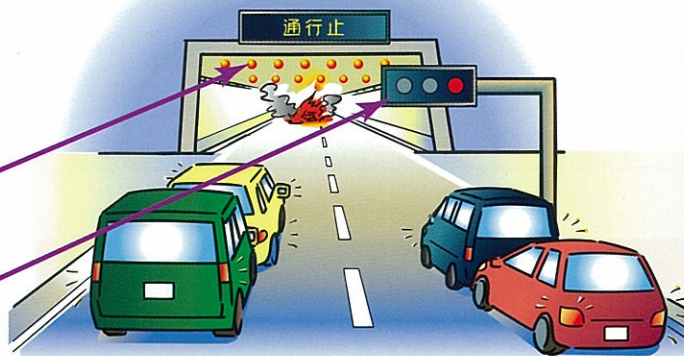
トンネルの入口にいるときは

・入口手前で停止

赤信号の場合は
トンネル内に絶対
入らないでください。

■坑口警報板
警報板と点滅灯で火災発生を知らせます。

■信号機
火災が発生すると赤信号に変わります。
赤信号の場合は絶対にトンネル内に入ら
ないで下さい。

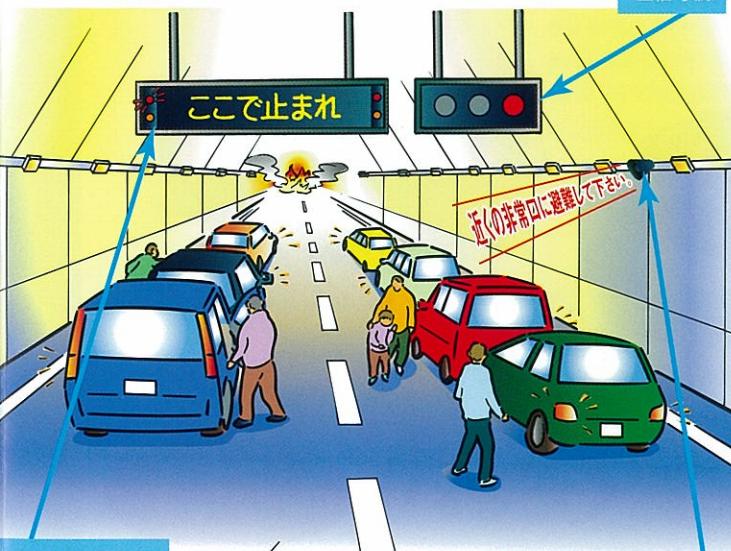


火災現場の手前にいるときは

・信号手前で停止

警報板や信号に従って停車してください。
停車後は拡声放送に従い、非常口へ
避難して下さい。

■信号機



■トンネル警報板

■拡声放送スピーカー

出口の手前にいるときは

・出口から街路へ出てください。

警報板や信号に従い
出口から出てください。

■信号機

■トンネル警報板
この先で火災が発生した場合は、出口から街
路へ出るように案内します。表示に従い行動
して下さい。



トンネル内の情報はカーラジオでお客様へ

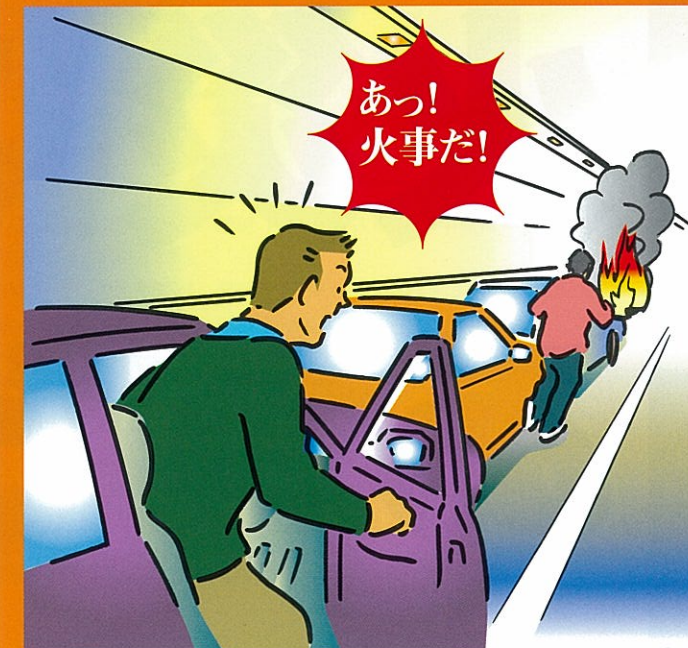


よし！状況は
カーラジオで聞こう

【火災発生】の時は、現場の状況
や避難誘導についての重要な情
報を放送します。ラジオのスイッ
チを入れておいてください。信号に
従い、停車後はすみやかに非常
口へ。

火災現場では

・まずは通報 ・すみやかに避難



■携帯電話からの通報
携帯電話で通報する場合は、管制室に自
分の居場所を伝えてください。
キロポスト表示が参考になります。

#9910

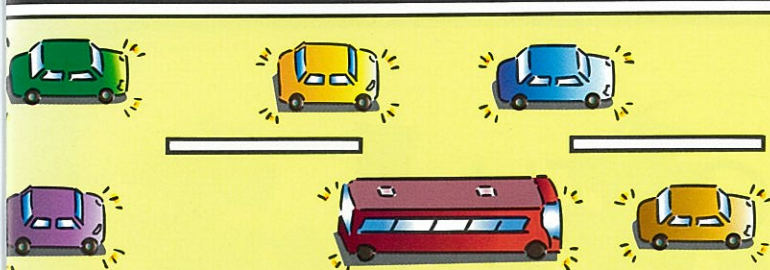
自動音声ガイダンスに従い
道路の番号を選択。

首都高は①を押す



もし火

災に遭遇したら



ここを止まれ



かに避難

すぐ**通報**してください

押す!

■押しボタン式通報装置
ボタンを押すと管制室に通報され火災発生を伝えることができます。

押しボタンと非常電話で**通報**を

もし
事です!

■非常電話
扉を開き、受話器を取ると交通管制室につながります。
交通管制室の指示にしたがって、行動してください。

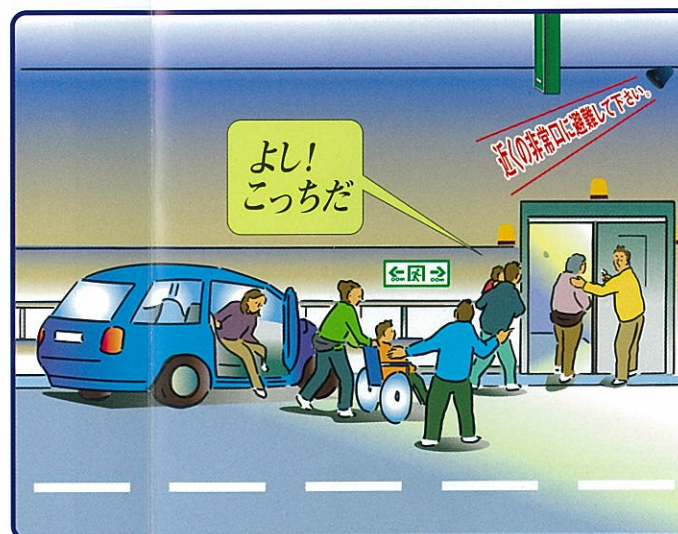


初期消火

安全が確認でき、
消火できる場合は
消火器または
泡消火栓を
使用してください。



すみやかに非常口から**避難**してください。



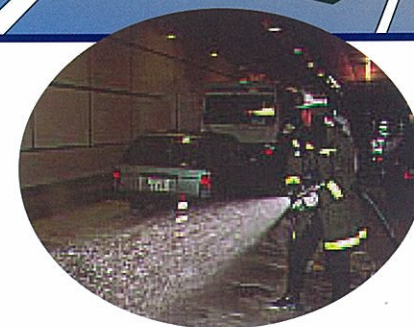
非常口強調灯

火災から遠ざかるように避難してください。
非常口までの距離は非常口誘導表示板で
確認できます。非常口に設置される黄色い
回転灯を目指し、避難してください。



本格消火

後は、**消防隊**にお任せください。





首都圏の流れが、地下から変わる。

緊急時には



携帯電話・PHS・固定電話から

#9910

自動音声ガイダンスに従い道路の番号を選択

首都高は①を押す

〔音声ガイダンスの途中で
操作は可能です〕

便利ダイヤル

- | | | | |
|-------------------|------------------|--------------------|-------------------------------|
| ■首都高速道路情報等のお問い合わせ | ●首都高お客様センター | ☎03 (6667) 5855 | 受付 7:00~20:00 (年中無休) |
| | ●聴覚障害者の方へのFAX通信 | FAX.03 (3249) 1161 | |
| | ●(財)日本道路交通情報センター | ☎03 (3239) 9801 | 受付 24時間 (2:00~4:00は自動音声による応答) |
| ■ETCに関するお問い合わせ | ●首都高ETCコールセンター | ☎03 (6667) 5859 | 受付 9:00~18:00 (年中無休) |
-
- | | | |
|--------------------------------|-------------------|-----------------|
| ■24時間の最新交通情報
テレホンサービス(自動音声) | ●出発路線指定(プッシュ回線専用) | ☎03 (5232) 2233 |
| | ●首都高速全域 | ☎03 (5632) 2222 |

首都高速道路株式会社ホームページアドレス

<http://www.shutoko.jp/>



ひと・まち・くらしをネットワーク
首都高速道路株式会社